

平成 23 年度第 7 回沖縄県がん診療連携協議会 相談支援部会議事要旨

日 時： 平成 24 年 3 月 8 日（木） 15：00～18：00

場 所： 琉球大学医学部附属病院 がんセンター

出席者： 8 名 田名勉（友声会：患者）、喜納海里（マインドケアおきなわ）

伊藤淳司（沖縄病院）、望月祥子（ハートライフ病院）、

神谷八重子（沖縄県立中部病院）、樋口美智子（那覇市立病院）、

増田昌人、西田悠希子（琉球大学医学部附属病院）、

欠席者： 5 名 玉城徳正（患者遺族）、高嶺ひとみ（豊見城中央病院）、秦 克之（中頭病院）、

伊良皆香代（沖縄県立八重山病院）、前川一美（沖縄県立宮古病院）、

陪席者： 2 名 仲間 直樹（沖縄県北部土木事務所維持管理班主査）

城間駒生（琉球大学医学部附属病院）

協議に先立ち、平成 23 年度第 5 回及び第 6 回沖縄県がん診療連携協議会・相談支援部会議事要旨が承認された。

【報告事項】

1. がん患者ゆんたく会について（11 月～2 月）

資料 3-1,3-2、3-3 に基づき、11 月～2 月までに各拠点病院にて開催された「沖縄がん患者ゆんたく会」の報告書について、確認が行われた。

2. がん相談件数（11 月～2 月）

樋口部会長より、各拠点病院のがん相談件数（11 月～2 月）について報告があった。しかし、これまで、各施設ごとの集計方法が異なり、全体として集計が取れないため、次年度より、拠点病院及び支援病院で共通様式で統計が取れるよう検討する事となった。また、西田委員より、静岡がんセンターの統計ソフトを基に、県独自の統計項目を挙げ、拠点病院及び支援病院の共通様式を作成してはどうかとの提案があった。

	平成 23 年 11 月	12 月	平成 24 年 1 月	2 月
北部地区 医師会病院	5 件	4 件	7 件	未集計
県立中部病院	63 件	92 件	101 件	未集計
那覇市立病院	211 件	178 件	263 件	300 件
琉大病院	54 件	46 件	50 件	56 件

3. 「患者必携」地域の療養情報 おきなわがんサポートハンドブック第 2 版について

資料 5 に基づき、3 月 2 日に行われた第 4 回沖縄県がん診療連携協議会にて「患者必携」地域の療養情報 おきなわがんサポートハンドブック第 2 版について報告されたことが報告され、次年度作成に向けて、ふりがなの追加や、専門用語の変換、インデックスの簡素化などの意見が挙げられた。

【協議事項】

1. 「患者必携」地域の療養情報「おきなわがんサポートハンドブック」第2版の配布方法及び、普及方法について

現在配布している第1版を4月中に配布終えるための配布方法について、各医療機関及び各施設へ配布状況についてのアンケート調査を実施する事が承認された。また、沖縄県医師の会報誌での広報や、協議会と連名で配布徹底についての依頼文を各医療機関へ通知するなど、協力依頼することが承認された。

2. 平成23年度相談支援部会年間事業計画の最終評価について

資料7に基づき、今年度事業計画の最終評価について協議され、「事業計画4の医療機能調査の実施」については、沖縄県単独で調査を行い、公表方法について当部会及び協議会にて協議することとなった。また、一部評価点の変更があった。変更内容は以下の通りでありある。

事業計画5 がん診療を行っている病院の医師対象に行った「セカンドオピニオンアンケート」の分析5点

⇒7点(3月に集計済。分析、公表方法については、7月までに部会にて協議し、協議会にて各医療機関より承認をいただく方向で計画)

3. 次年度(平成24年度)相談支援部年間事業計画の優先順位について

資料8に基づき、次年度の事業計画の優先順位について、以下4つの事業を優先に行う事が承認された。また、増田センター長より、新たに総合的にがん患者さんをサポートする「医療者必携」を作成することが提案された。素案としては、全16ページの小冊子で、今後は全部会と連携して作成にあたる事が検討された。

施策9のがん相談員対象の研修会の実施については、年度内に各拠点病院ごとに実施する事が承認された。

【優先順位】

施策10⇒沖縄県がん相談支援センターマニュアルを作成する

施策8 ⇒がん相談内容の分析を行う

施策2⇒患者必携第2版の配布・普及啓発活動を図る

施策3⇒患者必携第3版を作成する

4. 平成24年相談支援部会委員の継続及び選定について

平成24年度の相談支援部会委員の継続と選定について、新たに豊見城中央病院と浦添総合病院へ委嘱依頼する事が承認された。また、就労支援を行っている団体や介護ケアマネージャーを行っている立場の方、統括相談支援センターにも派遣依頼する事が承認された。

5. その他

がん対策推進基本計画(変更案)に基づき、増田センター長より、平成24年3月にがん対策推進協議会より厚生労働省大臣宛に提出のあった計画に、一部変更があったことが報告された。

また、新たに3月6日より国立がん研究センターより患者必携「もしも、がんが再発したら」が出版され各機関での周知していただけるよう依頼した。

更に、日本医療政策機構ホームページより、がんに関する様々なデータを集計した「がん対策白書 2011～アドボカシーに使える情報集～」が公開されていることが報告された。

6. 次回の部会日程について

事務方より、以下の日程にて提案されたが、未協議となり、後日メーリングリストにて調整することとなった。

日 程：平成 24 年 5 月 24 日（木）

時 間：15 時～ がんセンター

平成 24 年度第 1 回沖縄県がん診療連携協議会 相談支援部会議事要旨

日 時： 平成 24 年 4 月 19 日（木） 15：00～18：00
場 所： 琉球大学医学部附属病院がんセンター
出席者： 8 名 池田克己（沖縄病院）、志茂淳子（ことぶき指定居宅介護支援事業所）
望月祥子（ハートライフ病院）、吉本多佳子（沖縄県立中部病院）、
樋口美智子（那覇市立病院）、上原弘美（沖縄県地域統括相談支援センター）
増田昌人、石郷岡美穂、大久保礼子（琉球大学医学部附属病院）、
陪席者： 2 名 饒辺聖子（県立中部病院）、城間駒生（琉球大学医学部附属病院）

協議に先立ち、平成 23 年度第 7 回沖縄県がん診療連携協議会相談支援部会議事要旨が承認された。

【報告事項】

1. がん患者ゆんたく会について（3 月）

資料 2-1,2-2,2-3 に基づき、3 月に各拠点病院にて開催された「沖縄がん患者ゆんたく会」の報告書について、確認が行われた。

2. がん相談件数（3 月）

資料 3 に基づき、樋口部会長より、各拠点病院のがん相談件数（3 月分）について報告があった。

3. 「患者必携」地域の療養情報 おきなわがんサポートハンドブック第 1 版」の配布の徹底に関するがん診療機関への依頼について

資料 4 に基づき、事務方より沖縄県医師会と協議会より 4 月 19 日付けで「患者必携」地域の療養情報 おきなわがんサポートハンドブック第 1 版」の配布の徹底に関する依頼を、がん専門治療施設（24 施設）、標準的治療施設（83 施設）、各保健所（6 ヶ所）へ送付されたことが報告された。

4. 「患者必携」地域の療養情報 おきなわがんサポートハンドブック第 1 版」の配布に関するアンケート調査について

資料 5 に基づき、事務方より沖縄県医師会と協議会より 4 月 19 日付けで「患者必携」地域の療養情報 おきなわがんサポートハンドブック第 1 版」の配布に関するアンケート調査についての依頼を、がん専門治療施設（24 施設）、標準的治療施設（83 施設）、各保健所（6 ヶ所）へ送付されたことが報告された。今後は返送されたアンケートの集計結果を基に、配布・普及方法について検討されることとなった。

また、第 2 版配布に向けて、各拠点病院については、全がん患者（がんと告知された時）に行き届くよう、院内での配布体制の見直しを行い、フローチャートを明確にして次回の部会までに提示することとなった。

第 2 版の配布先については、新たに全居宅介護支援事業所と訪問看護ステーションへ 1 冊ずつ配布することが全会一致で承認された。各拠点、支援病院へは、半期ずつで分納し、残数は沖縄県で保管することが検討された。

5. がん相談支援センター案内用のチラシ送付について

資料 6 に基づき、事務方より、今年度事業計画施策 5 である、がん相談支援センターの広報物（チラシ/ポスター/リーフレット）送付について、4 月 5 日付けでがん標準治療施設（83 施設）へ送付されたことが報告された。

6. Skype（スカイプ）を用いた TV 会議・Web 会議について

資料 7 に基づき、3 月 2 日に開催された『平成 23 年度第 4 回沖縄県がん診療連携協議会』にて、遠隔地の施設の部会参加について協議され、「Skype（スカイプ）を用いた TV 会議・Web 会議」を行うことが承認され、現在、各施設ではその準備段階であることが報告された。5 月 2 日から各施設との接続テストが開始され、5 月中には、部会にて始動されることが報告された。

【協議事項】

1. 平成 24 年度相談支援部会委員の選定について

今年度の部会委員について、石郷岡委員より新たに南部医療センター・こども医療センター MSW 永吉美幸氏を招聘してはどうかとの提案がなされた。また、患者の立場として、ぴんく・ばんさあの与儀氏を招聘してはどうかの提案もなされた。

2. 平成 24 年度相談支援部会委員の選定について

平成 24 年度相談支援部会長および副部会長について、部会長は昨年引き続き、那覇市立病院 樋口美智子委員が務め、副部会長は、ハートライフ病院 望月祥子委員が務めることで全会一致で承認された。

3. 相談支援部会の開催回数について

事業の縮小により、部会の開催回数については、年 4 回（4 月、7 月、10 月、1 月）を基本とし、協議内容によっては、臨時会議を行うことが承認された。

4. 地域の療養情報「おきなわがんサポートハンドブック」第 2 版の配布先施設について

資料 8 に基づき、第 2 版の配布先については、新たに全居宅介護事業所と訪問看護ステーションへ 1 冊ずつ配布することが全会一致で承認された。各拠点、支援病院へは、半期ずつで分納し、残数は沖縄県で保管することが検討された。

また、各病院での現状として、全てのがん患者さんへ冊子が行き届いていないことから、各拠点病院については、全がん患者（がんと告知された時）に行き届くよう、院内での配布体制の見直しを行い、フローチャートを明確にして次回の部会までに提示することとなった。

納品部数について、各拠点、支援病院には、半期ずつ分納し、残数は沖縄県で保管することが検討された。

5. 『患者のためのチェックリスト』に対する医療者への周知用パンフレット作成について

配布については協議会名で発行することで承認された。内容に関しては、がんサポートハンドブックの表紙絵を挿し込むこと、リストの出典先（どこの機関で作成したものか）と発行日付も明記した方がいいとの意見があり、記載することとなった。

6. がん相談記入統計様式の作成について

資料 10 に基づき、統計様式は、「相談記入シート」が H21 年 3 月 13 日付で作成されており、同シートが県拠点病院と支援病院で運用中である。様式の運用については、電子カルテや病院独自の相談シートからの転記作業に手間がかかっている等実務レベルでの課題もあるが、現在使用している相談記入シート内の項目が統一されるよう各病院で工夫することで了承された。

現在、同様式は拠点病院と支援病院で運用中だが、宮古病院、八重山病院、北部地区医師会病院からの相談件数が報告されていないため、定期報告を呼びかける事となった。

シート内容の項目については、国立がんセンターからの調査項目に追加項目が出た際にその都度、当部会でも追加するか検討し修正を加えていくこととなった。

7. 沖縄県がん対策推進基本計画（案）に対する部会からの要望について

資料 11 のたたき台を基に、次期沖縄県がん対策推進基本計画に対する部会（案）について協議がなされた。当部会では、『相談支援・情報提供と就労支援と社会問題解決』の項目を担当することになっており、内容に関しては、今後は、たたき台を基にメーリングリストにて意見交換をすることとなった。

8. その他（部会の事業計画について）

前回の部会決定事項の通り、今年度は、施策 2、施策 3 の「地域の療養情報」関係、施策 8、施策 9、施策 10 を優先的に行うこととなった。

施策 9 については、拠点 3 病院が各 1 回ずつ研修会を実施することが必須のため、3 病院間で日程と研修内容について、協議をすすめることで了解された。次回の部会または、それまでの間にメールを通じて行う調整を進める。

9. 次回、相談支援部会開催日について

次回の相談支援部会開催日程について、第 1 候補を 7 月 12 日（木）として、調整することが承認された。

第 1 候補日： 平成 24 年 7 月 12 日（木） 15：00～17：00

第 2 候補日： 平成 24 年 7 月 19 日（木） 15：00～17：00

場 所： 琉大病院がんセンター